

【国語 5・6年】

筆者の意図を捉え、自分の考えをまとめよう

紀美野町立毛原小学校 浦 貴子

【6年生】

1 指導にあたって（教材観、指導のポイント）

プレ教材（下学年教材を使って5、6年交流学习を行う）によりメイン教材の読み方「明文の読み方（段落の要点のまとめ方、文章構成、文章構成図の書き方、要旨のとらえ方、筆者の考えについて自分の意見のまとめ方等に慣れさせるようにする。

6年教材「感情」の筆者の意図を考えながら読み、自分の考えをまとめさせるようにする。（本時）

「生き物はつながりの中に」の題名や挿絵から想像したことを自由に話し合わせ、興味をもたせるようにする。

説明文を結論部から読んで文章構成をとらえさせるようにする。

筆者の説明方法や説明内容について納得できるかできないかを話し合い、筆者の考えについて自分の考えをまとめられるようにする。

2 学習活動の概要

1 単元名	文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう
2 単元の目標	文章構成をとらえることができる。 筆者の意図をとらえてまとめることができる。 筆者の考えについて自分の考えをまとめ友達と交流できる。
3 評価規準	【関】筆者の問いかけに関心をもち、文章を読んで考えようとしている。 【読】筆者の意図を捉えている。 友達と交流することにより考えを深めている。 【言】文章構成をとらえている。
4 教材	「感情」「生き物はつながりの中に」
5 全員がわかる・できる授業の工夫	貌マークを使ってに興味を持たせるようにする。 「不安・後悔・悲しみ」と「安心・希望・喜び」ではどちらが大切か話し合い、教材に興味をもたせるようにする。 自分で教材を読み、文章構成を考えてから話し合わせるようにする。 わかりにくいときは、ペア学習やグループ活動で話し合いをしてから発表させるようにする。 黒板に提示した資料と同じ資料を見られるように配付する。 カラーペンを使って結論部のまとめが本論部のどこに書かれているかサイドラインを引かせるようにする。 学習の足跡が残るように教室の見えやすいところに学習の足跡を掲示するようにする。
6 複式授業を充実させる工夫	教科係が書き込めるような用紙を準備する。 話し合い活動の時は、必ず「なぜ、そう思ったか」理由を明らかにして話し合うようにする。 家庭学習として課題を出し、能率的に学習ができるようにする。 間接指導時に自主的に学ぶことができるような課題提示の工夫をする。 自分の考えは、ノートに書いてから話し合うようにする。

6 指導計画 (全7時間)

	学習活動	指導上の留意点
一次 (3時間)	<p>プレ教材「おにごっこ」で説明文学習の方法を学ぶ(1)</p> <p>「感情」の筆者の意図を大まかに読み取ってから文章構成を捉える。(2)</p> <p>本時(1/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文で学習しなければならない「要点のまとめかた」「文章構成(はじめ・中・終わり)」「要旨のまとめ方」「評価読みや解釈読み」について交流学习により習得させるようにする。 ・課題提示の方法をシンプルにして内容を捉えやすくする。
二次 (3時間)	<p>「生き物はつながりの中に」の題名に興味を持ち、本文を読む</p> <p>文章構成を捉える</p> <p>要旨をまとめ要約文を書く</p> <p>筆者の説明方法や説明内容に納得できるかどうか話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題から想像することを話し合わせるようにする ・まとめから三つの生き物の特徴を捉えて、カードに書きいつも見られるようにしておく。 ・段落の要点をまとめてから考えさせるようにする。 ・要旨のまとめ方や要約文の書き方は、書き方の例を示すようにする。 ・筆者の説明方法や説明内容のわかりやすさについて話し合い、自分の意見を筆者への手紙に書いてまとめるようにする。
三次 (1時間)	<p>命や生きることについて書かれた本を読んで友達に紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書で紹介されている本を読み、友達に紹介する時間を設定するようにする。(要旨をまとめたりや要約したりして紹介できるようにする)

【5年生】

1 指導にあたって（教材観、指導のポイント）

プレ教材（下学年教材を使って5、6年交流学习を行う）によりメイン教材の説明文の読み方（段落の要点のまとめ方、文章構成、文章構成図の書き方、要旨のとらえ方、筆者の考えについて自分の意見のまとめ方等に慣れさせるようにする。

5年教材「見立てる」の筆者の考えをまとめてから文章構成を捉えさせるようにする。
（本時）

円柱形の立体模型を提示して「生き物は円柱形」の題名に興味を持たせる。

双括型の説明文であることを知らせ、筆者の考えていることをとらえさせる。

中を二つに分けるにはどのように分ければよいかを十分話し合わせるようにする。

段落のつながり方を図で表せることを知らせ、文章構成図の書き方に慣れさせるようにする。

筆者の説明方法や説明内容でわかりやすい部分やわかりにくい部分について話し合い、筆者の考えについて自分の考えをまとめ、筆者に手紙を書かせるようにする。

2 学習活動の概要

1 単元名	文章と対話しながら読み、自分の考えをもとう
2 単元の目標	文章構成をとらえることができる。 筆者の意図をとらえてまとめることができる。 筆者の考えについて自分の考えをまとめ友達と交流できる。
3 評価規準	【関】筆者の問いかけに関心をもち、文章を読んで考えようとしている。 【読】筆者の意図を捉えている。 友達と交流することにより考えを深めている。 【言】文章構成をとらえている。
4 教材	「見立てる」「生き物は円柱形」
5 全員がわかる・できる授業の工夫	「はじめ」と「終わり」に共通して出てくる語句を探してキーワード「見立てる」「想像力」を見つけさせる。 双括型の説明文であることを知らせ、筆者の考えがわかりやすいように工夫されていることに気付かせるようにする。 挿絵を有効に利用してどの段落の文と関係あるのかを読み取らせるようにする。 中の分け方については、重要な語句を強調できるようにカラーペンや付箋を使うようにする。 自分で教材を読み、文章構成を考えてから話し合わせるようにする。 わかりにくいときは、ペアで話し合いをしてから発表させるようにする。 黒板に提示した資料と同じ資料を見られるように配付する。 学習の足跡が残るように教室の見えやすいところに学習の足跡を掲示するようになる。
6 複式授業を充実させる工夫	教科係が書き込めるような用紙を準備する。 話し合い活動の時は、必ず「なぜ、そう思ったか」理由を明らかにして話し合うようにする。 家庭学習として課題を出し、能率的に学習ができるようにする。 間接指導時に自主的に学ぶことができるような課題提示の工夫をする。 自分の考えは、ノートに書いてから話し合うようにする。

6 指導計画 (全7時間)

	学習活動	指導上の留意点
一次 (3時間)	<p>プレ教材「おにごっこ」で説明文学習の方法を学ぶ。(1)</p> <p>「見立てる」の文章構成を捉えてから筆者の考えを捉える。(1/2)本時</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文で学習しなければならない「要点のまとめかた」「文章構成(はじめ・中・終わり)」「要旨のまとめ方」「評価読みや解釈読み」について交流学习により習得させるようにする。 ・課題提示の方法をシンプルにして内容を捉えやすくする。 ・拡大ワークシートに付箋を貼りながらキーワードを見つけて要旨をまとめられるようにする。
二次 (三時間)	<p>「生き物は円柱形」の題名に興味をもち、本文を読む。 文章構成を捉える。</p> <p>要旨をまとめ要約文を書く。</p> <p>筆者の説明方法や説明内容に納得できるかどうか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・題から想像することを話し合わせるようにする ・段落の要点をまとめてから考えさせるようにする。 ・要旨のまとめ方や要約文の書き方は、書き方の例を示すようにする。 ・課題を焦点化してフリートークで話し合わせるようにする。 ・筆者の説明方法や説明内容について自分の考えをまとめて筆者への手紙として書くようにする。
三次 (1時間)	<p>単文や重文について知り、文の構成を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書例文を用いて単文と重文について説明する。 ・自分でもいくつかの文を作らせるようにする。

7 本時の目標

筆者の伝えたいことをまとめ、文章構成を捉えることができる。

筆者の伝えたいことをまとめ、自分は、どう考えるかを発表することができる。

8 本時の展開

5年生		わ た り	6年生	
留意点 個への配慮 評価	学習活動		学習活動	留意点 個への配慮 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨をまとめることを伝える。 ・ 教科系の指示で本読みを始めさせるようにする。 ・ 出てきた意見は板書させる。 ・ 拡大ワークシートを使用する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1段落と6段落の本文を黒板に掲示してキーワードと思われる語句に付箋を貼らせるようにする。 ・ ワークシートにまとめてから発表用紙に書いて発表させる。 要旨のまとめ方が分からないときは、個別指導をする。 ・ 要旨のまとめ方がわかるようにまとめ方を提示する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨を捉えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめ、中、終わりに分け、なぜそうなったのか理由を発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章構成を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題確認 ・ 教材文を読む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の考えがよくわかる段落を見つける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1段落と6段落でキーワードを見つける。 ・ 筆者の伝えたいことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ はじめ、中、終わりに分ける 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題確認 ・ 顔マークを二つのグループに分ける。 ・ 感情を表す言葉と顔マークを見つける。 ・ どちらのグループの感情が大切か話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文を読む。 ・ 筆者は、どちらが大切であると述べているか発表する。 ・ 筆者の伝えたいことをまとめる。 ・ 筆者の伝えたいことを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分はどう考えるかを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨をまとめることを伝える。 ・ 黒板に一枚ずつ顔マークを貼っていき興味をもたせるようにする。 ・ 全員に指で指させるようにする。 ・ フリートークで話し合わせるようにする。 ・ 自分はどちらが大切と思うか理由を言わせるようにする。 ・ 係の指示で本読みを始めさせるようにする。 どの文から考えたかを発表できるように個別に聞いておく。 ・ どの段落に書かれているかを確認してからノートにまとめ、発表用紙に書いて全員に発表させる。 ・ ペア学習やグループ学習で考えさせるようにする <ul style="list-style-type: none"> ・ 要旨を捉えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者の意見に賛成できるかできないかをノートに書いてから発表させる。